

どないする大阪の未来ネット

市民運動から考える「大阪都構想」

「都構想」をいかに止めるか

関西学院大学法学部教授
富田宏治

「不寛容なポピュリズム」 としての維新政治

政治的激動の時代①



政治的激動の時代が始まった②



- 市場原理主義とグローバル化の行きついた先は...
- 貧困と格差の恐るべき拡大
 - アメリカでは上位1%の資産が下位90%の資産を超える
 - 日本でも上位40人の資産が下位50%の資産を超える
 - 中間層の没落と崩壊
 - 不寛容とポピュリズム
 - “俺たちは99%だ！”のリアリティーも高まる

政治的激動の時代が始まった③

□ 没落と崩壊の危機に直面した中間層の痙攣

- 移民、民族的マイノリティ、宗教的少数者、性的マイノリティ、障がい者など弱者に責任を転嫁
- エリート、官僚、公務員、学者も標的に叩けさえすれば、敵は誰でもよい
- 憎悪と排斥→ヘイト・クライム
- 人権、「個人の尊厳」を建前として否定一本音で語るリーダーを待望

□ ポピュリストの跋扈

- トランプ、ル・ペン、橋下、安倍



政治的激動の時代④



- たとえば...維新の本質を曝け出して見せた長谷川豊
- 衆院千葉1区に維新から出馬⇒落選。比例も落選
- 「自業自得の人工透析患者なんて、全員実費負担にさせよ！無理だと泣くならそのまま殺せ！今のシステムは日本を亡ぼすだけだ！」
- 弱者への剥き出しの憎悪

政治的激動の時代が始まった⑤



- 99%の側の反撃
 - オキュパイ運動とバーニー・サンダース候補の健闘
 - イギリス労働党ジェレミー・コービン党首の再選
 - スペイン・ポデモスなど新たな民主的政党の台頭
 - オーストリア大統領選での中道左派候補の勝利
- キーワードは「寛容」

政治的激動の時代⑥

- 「野党は共闘！」を迫る市民社会



政治的激動の時代⑦

- 安倍暴走政権の「戦争する国づくり」に抗して
 - 立憲主義・民主主義・平和主義・個人の尊厳
 - SEALDs、ママの会など市民連合の声に依て
 - 「市民と野党との共闘」と野党統一候補
- 野党連合政権の展望の下に



維新支持層の二重構造

- 橋下維新と「都構想」のガチの支持層は、30代～40代男性「勝ち組」ホワイトカラー層と専業主婦層（40～50万票）
 - これまでの地方選、出直し市長選、国政選挙の支持層
 - 新自由主義的「改革」への幻惑
 - 重税感と貧困層・高齢層に自分の税金が回されることへの不満
 - 地下鉄民営化はじめ、民営化、民間委託などにビジネスチャンス
- 住民投票終盤で、橋下が「政界引退」を明言し、「橋下徹という政治家を殺さないで」との煽り（ポピュリズム的手法）に寄せられた20代～30代の若年層（10～20万票）
 - 非正規化、貧困化による閉塞感
 - 「改革」「既得権益の破壊」を掲げるマッチョなリーダーへの期待

福祉医療に牙を剥く維新政治

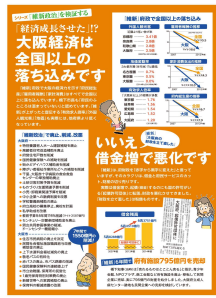
- 福祉医療に牙を剥きはじめた維新政治
- 府の医療助成の見直しによる高齢者、子ども、障がい者、ひとり親家庭など社会的弱者の負担増
- 住吉病院の廃止にともなう医療空白
- 根底にある弱者への憎悪



新自由主義的改革の絵にかいたような失敗例

維新「改革」は 新自由主義的「改革」の最悪の失敗

- 「財政再建」のための「緊縮」政策の名目で、福祉・教育・子育て・医療予算をカット
 - 7年間で1551億円の削減
- 大阪府の税収
 - 2007:1兆4260億円
→2014:1兆2021億円
 - 年間2000億円の税収減
- 大阪府の負債残高
 - 2007:5兆8288億円
→2014:6兆4136億円
 - 7年間で6000億円の借金増

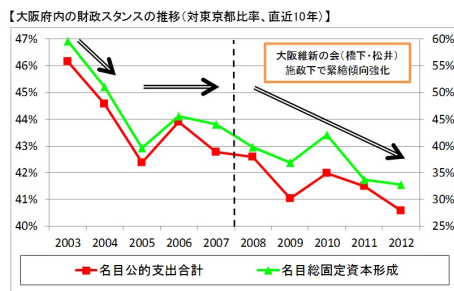


橋下・松井府政： 知ってほしい7つの「検証」



- 橋下・松井府政は、過激な「緊縮」路線である。
- 橋下・松井府政は、大阪の景気を凋落させた。
- 橋下・松井府政で、府民所得が低下した。
- 橋下・松井府政で、財政は大幅に悪化した。
- 橋下・松井府政は、中小企業を冷遇した。
- 橋下・松井府政は、「都市計画」を大幅に劣化させた。
- 橋下・松井府政は、「教育」を大幅に劣化させた。

維新の会のもとで推進される大阪の緊縮財政②



※出所：大阪府、東京都

3

京都・大阪・兵庫の4年間実質成長率

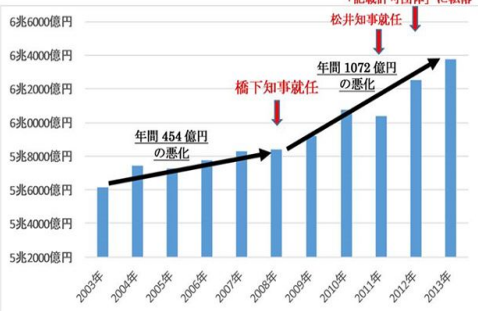
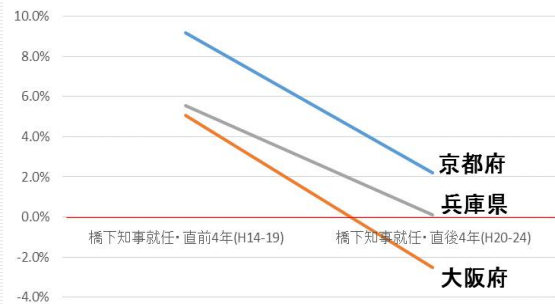


図1 大阪府の債務（借金）の推移

橋下・松井知事下での、教育現場（小中）の状況変遷

大阪府の「小中校での1000人当たりの暴力行為発生件数」都道府県ランキング

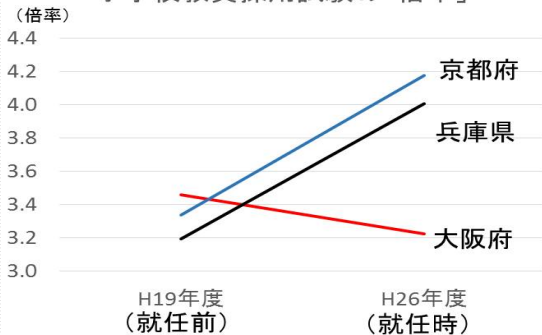
就任時(平成20年度)	6位	(7.7件: 全国平均は4.2件)
最新(平成26年度)	1位	(10.6件: 全国平均は4.23)

大阪府の「1,000人当たりの不登校児童生徒数(小中学生)」都道府県ランキング

就任時(平成20年度)	18位	(12.1件: 全国平均は11.8件)
最新(平成26年度)	6位	(14.0件: 全国平均は12.1件)

出展：http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/1/_icsFiles/afieldfile/2009/11/30/1287227_1_1.pdf
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/09/_icsFiles/afieldfile/2015/09/16/1362012_01.pdf
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/09/_icsFiles/afieldfile/2010/09/12/1282877_1.pdf

橋下・松井知事就任後の
小学校教員採用試験の「倍率」



これからの維新政治が目指すものは...

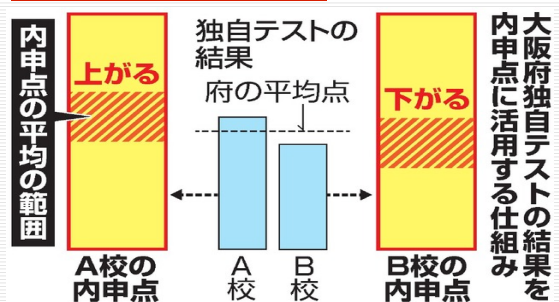
- 「市政改革プラン2.0」は民営化のオンパレード
 - 地下鉄
 - 水道
 - 中央卸売市場
- 「新自由主義改革」＝民営化がもたらすものは...
 - 貧困と格差の拡大
 - 暮らしの安心・安全の破壊



市場と競争を決して持ち込んではない領域に①

- 市場と競争を決して持ち込んではない領域がこの社会にはある
- 「維新政治」＝新自由主義的「改革」は、市場と競争を持ち込んではない領域にズカズカと踏み込む
- 水道、市場など市民生活の安心・安全の根幹に関わる事業
- そして、教育...
 - チャレンジ・テストは大阪の教育を破壊する

市場と競争を決して持ち込んではない領域に②



副首都推進本部の組織と検討課題



意味不明な「副首都」構想

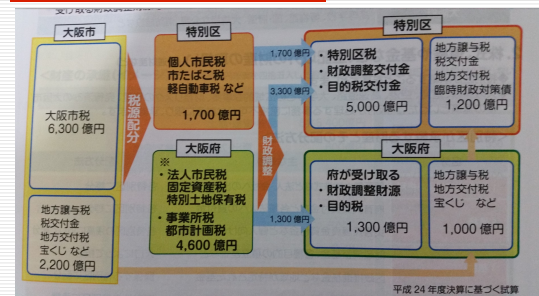
- そもそも「副首都」とは...
 - 首都直下地震に備えて...?と思ったら
 - 単独省庁の移転だけなら、京都も徳島も副首都?
 - 10万人の盆踊り大会で「副首都」に?
- 大阪都構想と「副首都構想」との関係は...
 - 大阪都＝特別区設置は「副首都」に相応しい大都市制度...?
 - 2018年に「総合区」か「特別区」かの住民投票
 - 「特別区設置」は、2015年5月に否決されたのに

「都構想」の真の狙いは...

- 特別区から大阪府に吸い上げられる財源はなんと2,300億円。



2,300億円を吸い上げる仕組み



吸い上げた財源は大型開発計画へ

【橋下市長、松井知事の総額1兆5000億円にもなる大型開発計画】(一部)

事業	内容	概算事業費
地下鉄道「なにわ筋線」	大阪から関空まで5分、9分の短縮	約2500億円
高速道路・淀川左岸線延伸部	交通量が減る中での整備計画	約3000億円 ～4000億円

▽カジノ誘致関連 (以下の三つのうち二つの事業を選択)

JR桜島線延伸	夢洲～桜島	約1700億円
京阪中之島線延伸	夢洲～中之島	約3500億円
地下鉄中央線延伸	夢洲～コスモスクエア	約540億円

- カジノと無駄な大型開発計画の財源づくりのための「都構想」?

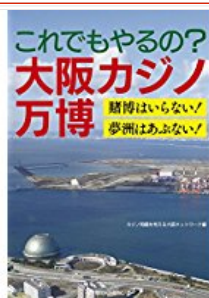
行き詰まりを打破する最後の手段？ カジノ&万博の夢洲誘致



- 新自由主義「改革」で大阪経済は貧困と格差が一層拡大。
- 庶民の懐を冷やして、成長することはあり得ない。
- 行き詰まりを打破するために打ち上げた大阪カジノ万博だが...
- 維新の腐敗墮落の象徴?

カジノ&万博よりも福祉・医療の拡充を!

- 貧困と格差の是正こそが急務。
- 府民・市民の安心と安全の確保も不可欠。
- まったうな再分配なしには疲弊した大阪経済を立て直すことはできない。
- 庶民の懐が温まってこそ、庶民の街大阪に活気が...



モンスターの集票マシンへと変貌した大阪 維新

2016年参議院議員選挙の結果

- 投票率 54.70%←52.61%(前回2013)
 - 10代の増加分を除けば、前回参院選より380万票程の増に止まる
 - 今回も「風」は吹かず、止まったまま
 - 2000万の大量棄権層の大半は、今回も棄権に止まった
- 衆参比例区での得票の推移

自民	2011←1766←1846←1662←1407←1881←1654←2589
公明	757 ←731 ←757← 712 ←764 ←805← 777 ←898
維新	513 ←838← 636←1226
民進	1175 ←978 ←713 ←963←1845←2984←2325←2104
共産	602 ←606 ←515 ←368 ←356 ←494← 441 ←491
- 自民の増加分は旧次世代・旧維新からの出戻り?

空中戦から組織選・陣地戦へ



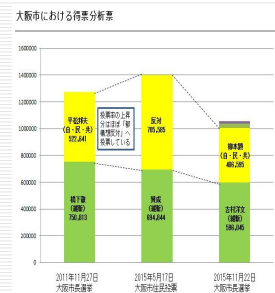
- 「日本型ポピュリズム」の最終的敗北
 - 大衆の不安・不満を煽り、敵を叩いて喝采を集め、マッチョなリーダーへの白紙委任を迫るポピュリズム的政治手法
 - 「小泉構造改革」「政権交代」「ハシズム」をもたらしたポピュリズム的政治手法の限界
 - 「風」に煽られ、「構造改革」や「政権交代」に期待を裏切られ、ハシズムにも愛想つかした1000~2000万の大量棄権層の登場
- 「風」には煽られず、行き場を失った大量棄権層に、対面的な政治対話を通して強固な支持を広げる組織戦・陣地戦の時代へ

「風」だのみの「空中戦」から、地を這うような「組織戦」「陣地戦」へ

- 投票率・得票数(大阪市内)
 - 統一地方選 約50% 約100万票
 - 住民投票 約67% 約140万票
 - W選挙 約50% 約100万票
- 大量棄権層(全国で2000万)のうち40万が住民投票では投票所に。W選では棄権に戻る
 - 自民にも、民主にも、維新にも愛想を尽かした大量棄権層の存在
 - かつては風に吹かれて、小泉構造改革を支持し、民主党の政権交替を支持し、橋下維新を支持したが...
- 大阪W選挙は、「風」頼みの「空中戦」ではなく、組織と組織がぶつかりあった「組織戦」

大量棄権層が勝敗を分ける

- 住民投票では、40万の大量棄権層のうち、約10万が橋下の「風」に煽られて賛成に
 - 住民投票賛成票と吉村票
 - 69.5万-10万=59.5万
- 30万が「オール大阪」に期待して、反対に
 - 住民投票反対票と柳本票
 - 70.5万-30万=40.5万
- 40万棄権が勝敗を分けた



「身を切る改革」=新自由主義改革を支持する層を組織する組織政党へ



- 参議院大阪選挙区
 - 自民・松川 761,424
 - 維新・浅田 727,495
 - 公明・石川 679,378
 - 維新・高木 669,719
 - 共産・渡辺 454,502
 - 民進・尾立 347,753
- 松井知事の200万からすれば、140万は少ないが...

モンスターのような「集票マシン」へと変貌した大阪の維新

- 国会議員、地方議員百数十名に、1日300握手、600電話、10辻立ちのノルマ
 - 監視役を派遣し、ノルマ達成を日々点検
 - 「ブラック政党ですわ」との地方議員のぼやき
 - 自民党の支持者名簿をもとに1日数万本の電話
- 2016参議院選挙では、浅田候補と高木候補にしっかりと票を分け合う見事な組織戦を展開
 - 浅田は府議団、高木は国会議員団と大阪・堺市議団



民進解党→「希望」合流

- 2年間におよぶ市民と野党の共闘の努力は、前原氏の裏切りで一瞬にして瓦解？



「排除いたします...」

- 「寛容な改革保守」のはずが...
- 「不寛容なポピュリストの」本性が顕わに



ポピュリストvsポピュリストの構図から 自公希維vs市民と野党の共同の構図へ

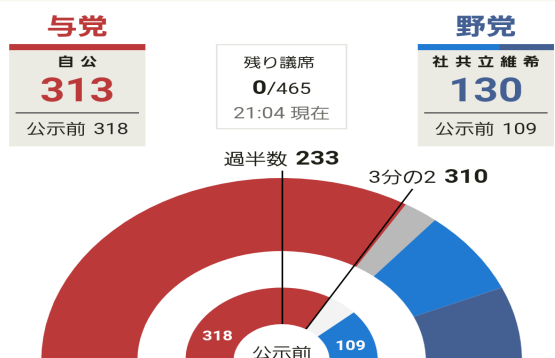


2017年解散総選挙の結果

	与党		その他					野党				
	自民	公明	無(与)	無(野)	無(他)	諸派	こころ	社民	共産	立憲	維新	希望
小選挙区	218	8	1	21	0	0	-	1	1	18	3	18
比例区	66	21	-	-	-	0	0	1	11	37	8	32
計	284	29	1	21	0	0	0	2	12	55	11	50
公示前	284	34	11	27	0	0	0	2	21	15	14	57

* 定数10減。公示前勢力は解散後の党派異動を含む（欠員3、民進の不出馬7人は除く）
 * 自民当選者には無所属から追加公認された3人を含む。無所属は与党系、野党系、その他に分類

各党の獲得議席



2017年衆院選の比例得票数

2017衆院選	2016参院選	2014衆院選
自民 1856	自民 2011	自民 1766
公明 698 (2554)	公明 757 (2768)	公明 731 (2497)
維新 ↓ 339	維新 ↓ 513	維新 838
希望 968		
立民 1108	民進 1175	民主 978
共産 440 (1548)	共産 602 (1775)	共産 606 (1584)
	2516	

立憲の1,100万、希望の970万はどこから来た？(2014年⇒2017年)

- 18-19歳の選挙権付与、投票率の微増
 - 総投票数は5294万⇒5576万と280万増(棄権層)
- 各党の投票数の減少 計700万
 - 維新838万⇒339万と500万減
 - 公明731万⇒698万と30万減
 - 共産606万⇒440万と170万減
- 民主978万⇒立憲+希望2076万と1100万増
 - 民主の票を立憲民主と希望が分け合う
 - 維新500⇒希望 共産・公明・棄権層500⇒立憲

大阪における維新の組織票は健在 決して大阪の維新を侮るべからず!!

- 比例区: 1,143,606(32.4%)⇒934,972(26.9%)
希望に行った208,550を足すと1,143,522
- 1区: 75,016⇒66,506
- 2区: 56,025⇒68,844
- 4区: 74,101⇒72,446
- 市計: 205,142⇒207,796
- 7区: 67,791⇒66,780
- 8区: 62,522⇒57,187
- 9区: 91,400⇒91,433
- 10区: 50,516⇒44,938
- 11区: 58,321⇒61,859
- 12区: 41,649⇒64,530
- 13区: 次世代⇒52,033
- 14区: 78,332⇒77,696
- 15区: 74,483⇒74,368
- 17区: 70,196⇒65,427
- 18区: 88,638⇒87,070
- 19区: 56,119⇒66,712
- 府計: 945,109⇒1,017,834
- 13区の方を引けば965,801

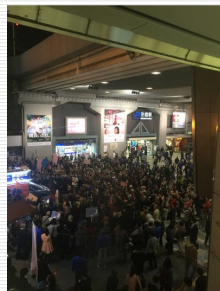
大量棄権層に「オール大阪」の共同 の力を見せることができたのか？



- 40万の大量棄権層が投票所に足を運び、30万が反対に投じた住民投票と何が違ったのか？
- 大量棄権層の目に「オール大阪」はどう映ったか？
- 「オール大阪」は大量棄権層にどう働きかけることができたのか？
- 小泉「構造改革」、民主党による政権交代、橋下「維新政治」に期待し、裏切られ続けた大量棄権層は、「オール大阪」の何に期待したのか？

「オール大阪」の組織的力量不足

- 安倍政権との距離をめぐって
自民党支持層、共産党支持層の間に吹くすさま風
- 宣伝と対話の足が止まる
 - 圧倒的な対話不足
 - 不協和音を打ち消すだけの対話は...？
 - 維新の1日数万件の電話を凌ぐ対話は...？
 - 「戦略的投票」という難しい行動を呼びかけるのに相応しいだけの対話は...？



住民要求に基づく草の根からの共同の再構築を

- 維新の改憲別動隊としての本質の暴露
- 「副首都構想」「大阪都構想」の不毛性の暴露
- 地下鉄、水道、市場などの民営化から市民生活の安心・安全を守る
- しかし、それだけでは足りない...
- 草の根から住民要求を掘り起こし、その実現を「維新政治」に對置する「保革」を超えた草の根の共同の構築こそが求められている。